

防災×ワンヘルス

南小学校で6月15日、災害救助犬の実演を通して、ワンヘルスを学ぶ全校授業がありました。

私たちの周りには、盲導犬や介助犬などの補助犬のほか、麻薬探知犬や警察犬など、様々な分野でその能力や習性を生かし、私たちの生活と命を守ってくれている動物がたくさんいます。

この授業で児童たちは、災害救助犬が人間にはない鋭い嗅覚で、災害の場どのように活動するのかを見学し、動物の特性や個性を尊重して共に生きることの大切さや防災について学びました。



命を守るワン！
南小学校で全校授業



ワンヘルスセンター完成予想図（パース）

福岡県×みやま市

ワンヘルス推進に向け協定を締結



6月21日、みやま市議会において、保健医療経営大学の跡地及び建物を福岡県へ無償譲渡する議案が可決されました。そして、7月5日に県庁で協定締結式が行われ、福岡県知事とみやま市長が協定書にサインをしました。

協定は、市が無償譲渡する保健医療経営大学の跡地(約10ヘクタール)及び建物を有効活用し、ワンヘルスを推進するため、福岡県とみやま市が緊密に連携し、協力することを目的としています。

服部誠太郎・福岡県知事
みやま市との連携をさらに深め、ワンヘルスの取り組みを加速していきたいと思っております。

松嶋盛人・みやま市長
協定に基づき、福岡県との結びつきをより一層強め、知事が目指されるワンヘルスの世界的先進地としての二翼を担ってまいります。

連携協力事項

①福岡県は、譲渡物件を最大限活用して、ワンヘルスセンターを整備するほかワンヘルスに関する事業を実施する

②福岡県は、ワンヘルスセンターに、ワンヘルスについて学び、体験できる設備や、国内外の研究者が集う設備を整備することにより、みやま市の地域発展に寄与する

③みやま市は、福岡県が行うワンヘルスセンターを実践拠点としたワンヘルスの推進に協力する



▲県庁で行われた締結式

#みやまワンヘルス

ワンヘルス宣言をされている事業者をご紹介します。一緒にワンヘルスの輪を広げていきましょう！



クリーニングまるまさ
(高田町下楠田)

ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

経営者仲間の勧めで登録しました。商工会の勉強会で学び、事業者や個人の小さな努力の積み重ねが、豊かな環境を残していくためには大切だと実感しました。

ワンヘルスの取り組みを教えてください

クリーニングした衣類に付けるプラスチックのハンガーをできるだけ回収し、リユースするようにしています。また、ドライクリーニングで使用する石油系の溶剤を、回収・再利用できる機械を導入し、資源を大切に使うようにしています。

今後、どのように推進していきますか

釣りが好きなのですが、プラスチックなどによる海のゴミ問題が深刻だと知りました。廃棄をなくし、次の世代にきれいな海や自然を残すため、ハンガー回収の声かけをするなど、できる努力をしています。



福岡県南部給食センター
(瀬高町上庄)

ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

私たちの取り組みが地域社会のお役に立てるようにと考えました。

ワンヘルスの取り組みを教えてください

当社は、学校や病院、個人宅への給食の宅配や、学校食堂の運営を行っています。以前は給食を作る過程で出る生ゴミを焼却していましたが、バイオマスセンターに持ち込み、資源として活用してもらうようにしました。また地元の米や野菜を積極的に使用し、地産地消に取り組んでいます。米は95%がみやま産です。さらに、自社農園で有機栽培も行っています。

今後、どのように推進していきますか

地域課題の解決に役立つことのできるような給食センターを目指しています。地元の雇用創出、地産地消の推進、フードロスの削減、人材の活用等に取り組みながら、みやまの恵みを食卓に届けていきたいです。